

I 平成25年度事業計画書

日々の食生活を営む上で必要とされる情報を、その収集にハンディを負った視覚障害者や高齢者にも一般の人々と同様にお届けできるよう、当協会は、様々な活動を展開して参りました。

また、食育基本法が制定されて以来、当協会は、これまでの経験を生かして、人々が健全な食生活を実践できるよう「食育」の推進にも積極的に取り組んで参りました。

昨年末に政権交代があり、積極的な財政・金融政策や成長戦略への期待から、株価の上昇、円高の是正など明るい兆しが見えつつあります。

一方、当協会を取り巻く情勢を見ますと、高齢化社会の進展に伴う諸対策の強化や障害のある方々への支援の充実が求められており、当協会の果たすべき役割は、益々大きくなりつつあります。

このような中で、日頃ご支援いただいている皆様のご理解をいただきながら、事業の拡充を図っていく必要があります。

平成25年度においては、従来の活動の成果を踏まえ、さらに事業内容の見直しを図りつつ、高齢者・障害者等への食生活に関する知識と情報の提供、食生活環境のバリアフリー化及び食育に関する事業を推進して参ります。これらの事業の具体的な内容は、次のとおりです。

1 視覚障害者への音声による食生活情報の提供

月刊「声の食生活情報」

食生活に関する知識と情報を録音した月刊「声の食生活情報」を、希望に応じ、カセットテープ又はデイジー（デジタル録音図書国際標準規格）対応のCDで、視覚障害者個人、視覚障害者福祉協会、点字図書館、盲学校等へ提供します。

2 ホームページによる食生活情報の提供

ホームページ「すこやか食生活ネット」で、毎日の献立のヒントとなるレシピを紹介します。料理の写真を掲載し、作り方を音声で聴くこともできます。

このほか、ホームページでは、当協会の活動状況の報告や作成した資料の紹介等を行います。（URL：<http://www.sukoyakanet.or.jp/>）

3 食育の推進

① シニア世代が健康長寿を全うするための食育の推進

「シニア世代食育推進協議会」の会員として、かつ、その事務局の役割を果たしながら、食事の宅配事業者、事業所給食実施事業者、高齢者への給食サービス実施団体等との連携により、シニア世代が健康長寿を全うするための食育に関する事業を推進します。

〔シニア世代食育推進協議会が農林水産省の補助事業に応募〕

② シニア世代のための食育セミナーの開催

シニア本人と家族、地域社会、食に係わる企業・団体が分担し連携して、シニア世代の食生活に関する課題に対応し、食生活環境を改善するため、様々な食に関する知識・手法を各分野の専門家から紹介いただく市民講座を開催します。

〔(一社)日本フードスペシャリスト協会助成事業、申請中〕

③ 食育推進事業の成果の紹介

食育に関する情報を引き続き当協会のホームページに掲載するほか、「シニア世代食育推進協議会」のホームページの運営を当協会が担い、その内容の充実を図り、食育に取り組もうとする方々の参考に供します。

4 視覚障害者の食生活環境のバリアフリー化の推進

① 食生活改善に関する解説書の作成

当協会は、これまでも、高齢者、障害者等ハンディキャップを負った方々の自立、自活を支援するため、バリアフリー化に関する諸事業に取り組んで参りました。その一環として、平成25年度は、視覚障害者が自立したよりよい食生活を営むための実践の手引きとして、食生活の質を高める手法、食事の摂り方、食品衛生、災害の備えの4つの分野について解説した大活字・透明点字併用の解説書を作成します。

〔(財)日本宝くじ協会助成事業、申請中〕

② 食生活改善に資する調査とその広報

視覚障害者の食生活を安全で豊かなものとするため、声の食生活情報の利用者等を対象として視覚障害者の食生活の実態及び食材の調理と試食による評価を調査し、食品企業・団体はじめ関係する方々に当面する課題とその解決に積極的な対応を呼びかけるとともに視覚障害者間での情報の共有を図ります。

5 高齢者の食生活を豊かにするための情報提供

① 料理教室

高齢者を対象にして、牛乳・乳製品を使った栄養バランスの良い新しいメニューの普及とそれを通じた牛乳・乳製品の持続的な消費拡大を図るための料理教室を首都圏各地で開催します。

〔関東生乳販売農業協同組合連合会、申請中〕

② 即席食品の正しい知識の普及

調理が簡便な即席食品は、日常の調理にハンディを抱えがちな高齢者や障害者にとって便利な食品です。その正しい知識を身につけてもらうとともに、使い勝手を良くするための要望を汲み上げることを目的として、昨年度に引き続きアンケート調査を実施します。

〔(社)日本即席食品工業協会、申請中〕